

## 資源制約下における中国農業の現状と問題点

白 石 和 良

### はじめに

本稿は「世界食料需給プロジェクト研究」のカントリー・スタディの一環として行った研究を取りまとめたものである。本稿では、中国の人口問題、農業生産状況、農地、農業労働力、林業、農業災害の問題を扱う。本稿の性格として資料の整備に重点を置いた。

なお、水資源の問題は別稿で取りまとめることとしている。

また、本稿の記載中、〔 〕で括弧であるのは中国語の原語である。

### 1. 中国の人口問題

最初に中国の人口問題を取り上げるのは、中国経済の発展、環境問題の解決等の上での最大の障害は膨大な人口の存在とその増大であり、したがって、問題解決を図る上で最も緊要なことは、その増大の幅の確固とした掌握である。つまり、人口増大の幅が確定しなければそれに応じた対応策も自信を持って立てられないからである。

#### (1) 最近の実績

中国の人口問題に関して最近の重要関心事は、2000年11月1日現在で第5次人口センサスが行なわれたことである。そして、もう一つの関心事は後述するような中国政府の人口抑制政策の最初の目標年次である2000年末の結果がどうなったかである。

##### 1) 全国の状況

ア. 第5次人口センサスの結果(2000年11月1日現在での調査)

今回の第5次人口センサスの結果は、総人口は12億6583万人(台湾、香港、澳門を含まず)であった。

##### イ. 2001年末の実績

2001年末の総人口は、『中国統計年鑑2002』によると、12億7627万人(前年比884万人の増、自然増加率0.695%)と公表されている。後述するように、この数字は、中国政府が目標としていた2000年末13億人以内という数値を2300万人以上の余裕を残して既に達成したことを意味している。

##### ウ. 人口センサス結果による人口統計の修正

中国では人口センサスが行われない年にはサンプル調査で人口統計を公表しているが、人口センサスが行われると、その結果に基づいてこれまでの統計を修正することが行われている。今回の第5次人口センサスの終了後も同様にこれまでの人口統計の修正が行なわれている。『中国統計年鑑2001』と『中国統計年鑑2002』とを比較してみると表1-1のような修正が行なわれていることが分かる。